さいたま市立新開小学校（№３）

学校だより

（６月号）令和３年５月３１日発行

http://shibiraki-e.saitama-city.ed.jp/

【学校の教育目標】

◎ 夢（ゆめ）にむかって　ともに学びあう学校

・すすんで勉強する子
・自分からあいさつのできる子
・仲よくたすけあう子
・じょうぶな子

《今月の生活目標》　友だちの輪を広げよう

争わないひきがえる

校　長　　白石　徳一郎

梅雨の蒸し暑い季節になりました。田んぼは田植えが終わり、この季節を喜んでいる生き物も多いことでしょう。

以前、６月の雨上がりの夕方、校舎に沿って歩くひきがえるを見つけたことがあります。珍しいので子どもたちに見せたいと思い、しばらく飼うことにしました。その日はひきがえるを３匹も見つけたので、名前を付けて飼い始めました。ひきがえるについて調べてみると、面白いことがいろいろわかりました。例えば、オスはメスの約３倍いること。子孫を残す場合、一般的にメスを獲得するためにオス同士が争う生き物が多いですが、ひきがえるは争うことがなく、最初のオスがメスに抱きつくと、次々にわれもわれもと抱きつき、大きなひきがえるのだんごになることがよくあること。また、えさを食べるとすぐ手近な穴に入り寝てしまうそうですが、その穴に他のひきがえるがいてもおかまいなしに入っていくし、先住者もとがめだてすることがなく、なわばりなどの所有権は主張せず、けんかもしないこと。餌場も完全に共有していて、獲物を待ち受けている時も２匹がお尻をつき合わせていることは珍しくなく、時には４、５匹整列していることもあることなどです。生態がわかると性格もおっとりしていて親しみを感じますね。

子ども向けの壁新聞

話は変わりますが、ひきがえると言えばアーノルド・ローベル作のがまくんとかえるくんの物語を思い出す方も多いことと思います。教科書にも載っている「お手紙」は、誰からもお手紙をもらったことがないがまくん（がまがえる。がまがえるはひきがえるの俗称）にかえるくん（普通の蛙）がお手紙を書いてあげるという友情の物語です。英語ではがまがえるのように歩く蛙をｔｏａｄ、一般的な跳ねる蛙をｆｒｏｇと言うそうですが、ｔｏａｄには醜いものといった意味もあり、見下したニュアンスがあるそうです。そう考えると、「お手紙」は友達の少ないがまくんに、かえるくんが優しい思いやりをもっていると読み取れ、さらにいい物語に思えてきます。

６月はいじめ撲滅強化月間です。ひきがえるは仲間と争わないという人間も及ばない素晴らしい一面をもっています。がまがえるの外見や、のそのそ歩くという行動面だけを見て判断することのない、かえるくんのようにやさしい気持ちをもてる人になってほしいと思います。

ご家庭でもぜひ、お子様のやさしい気持ちをさらに伸ばしていただきますよう、そして、誰にでもやさしい気持ちや思いやりをもてる子になりますよう、話し合っていただけたら幸いです。人にも生き物にもやさしい気持ちをもって、いじめをしない、いじめを許さない学校にしていきたいと思います。今月もどうぞよろしくお願いいたします。

（参考文献　「金沢城のヒキガエル【競争なき社会に生きる】」奥野良之助　著）